

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月20日

計画の名称	福岡県地域強靱化計画に基づく代替性確保や信頼性を高めるための道路整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	多重性・代替性の機能強化を図る観点から、幹線道路の整備（現道拡幅・バイパス整備）を進め、物流上重要な道路輸送網においては、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するための機能強化を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	380	A	380	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R1年度末)	中間目標値 (R4年度末)	最終目標値 (R6年度末)
1	福岡県災害時受援計画で定める救助活動拠点等から防災拠点までの所要時間（重要物流道路経由）の短縮 Σ（整備前の、福岡県災害時受援計画で定める救助活動拠点等から防災拠点までの所要時間（重要物流道路経由））－Σ（整備後の、福岡県災害時受援計画で定める救助活動拠点等から防災拠点までの所要時間（重要物流道路経由））	0分	19分	20分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
国土強靱化を含む														

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果															R02	R03	R04	R05	R06
備考																					
道路事業	A01-004	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	(主) 高田山川線・今福 T区	バイパス L=0.73km	みやま市	■					380	—			
											小計						380				
											合計						380				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>計画策定主体である福岡県道路建設課において評価を実施した。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和5年3月</p> <p>公表の方法</p> <p>インターネット</p>
---	--

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>多様性・代替性の機能強化を図る観点から、幹線道路の整備（バイパス整備）を進めた結果、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するための機能強化などに寄与した。新たな最短ルートが構築されたことで、円滑化及び安全性が向上し、走行ルートの速度向上が図られ、所要時間が短縮した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	事業区間から対象拠点（空港・港湾・IC・工業団地等）までの所要時間短縮		
	最終目標値	20分	用地取得の困難等による整備進捗の遅れや、パッケージ移管等による評価対象事業の減少により、目標を下回る結果となった（13事業→1事業）。今回の評価対象1事業（8%）では約4分短縮となるため、目標を上回る実績が得られていると考えられる（事業按分では約2分短縮が目標値）。
	最終実績値	4分	